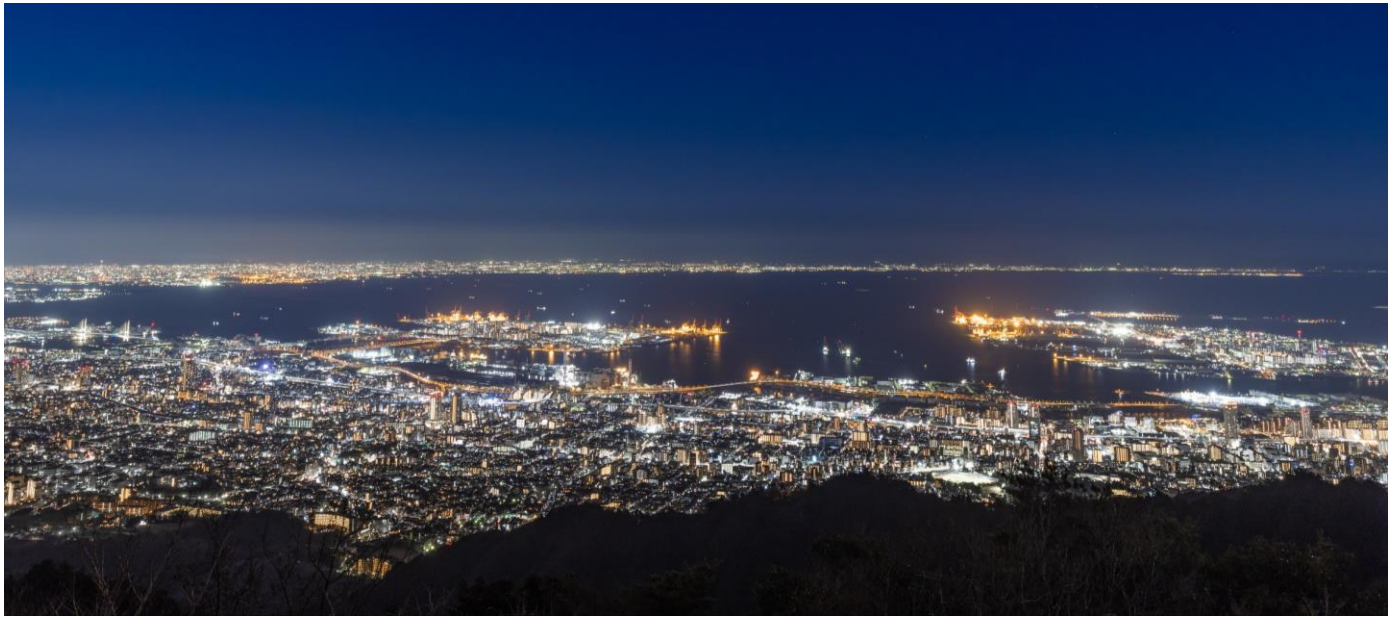


神戸観光局 NEWS LETTER vol.17 (2022.12.9)

CONTENTS

- P.1 神戸ルミナリエの灯りを未来へ繋ぐために
- P.2 南京町春節祭
神戸のとびら：神戸を彩る特選プログラム
- P.3 旬な神戸をPR! 『今こそ神戸へ!』キャンペーン (第二弾) / 「神戸で海外旅行」キャンペーン2022実施中!
- P.4 海外現地の状況
- P.5 神戸フィルムオフィス通信
- P.6 MICE業界でも取り組みが求められてきている「DEI」
- P.7,8 クルーズ船の運航情報
- P.9 宮崎カーフェリー新船「フェリーろっこう」就航 / ジャンボフェリー新船「あおい」就航
- P.10 第38回 神戸港フォークリフト荷役技能向上大会 / みなとHANABI
ー神戸を彩る5日間ー
- P.11 「スマアワ Ship&Cycle」須磨と淡路を結ぶ海上航路実証実験を実施



神戸ルミナリエの灯りを未来へ繋ぐために

神戸ルミナリエpresents「カッサアルモニカ/音楽の宝箱」を開催!

阪神・淡路大震災の記憶を後世に語り継ぐとともに、神戸の希望を象徴する行事として開催してきた「神戸ルミナリエ」。新型コロナウイルスの影響で開催が見送られる中、本日12月9日(金)から「カッサアルモニカ/音楽の宝箱」を下記のとおり開催します。

■期間：令和4年12月9日(金)～18日(日) 10日間

■概要：

例年神戸ルミナリエのメイン作品の1つとして華やかに会場を彩る「カッサアルモニカ」。イタリア語で“音楽の家”を意味する同作品を東遊園地に展示し、作品内をコンサートステージとすることで癒しの楽曲とルミナリエ作品の「希望の光」をお届けします。また、ルミナリエ作品の「ロソーネ」や「希望のアーチ」を設置することで、神戸ルミナリエの意義を語り継ぎ、来年の再開への機運を醸成します。また非接触型のデジタルスタンプラリーを実施し、来場者に周遊していただくことで市内の回遊性の向上を図ります。



カッサアルモニカ



ロソーネ

デジタルスタンプラリーも同時開催

全8スポットをめぐるコースとなっており、全スポットのスタンプを集めてアンケートに答えると、抽選でルミナリエ限定グッズ等が当たります。



<スタンプラリースポット>

- 東遊園地 (1.17希望の灯り)
- 東遊園地 (南側園地) ■神戸税関 ■三井住友銀行
- 神戸朝日ビル ■南京町 ■風見鶏の館 ■萌黄の館



事業内容はコチラ→

3年ぶりのステージイベント、獅子舞による採青（祝儀取り）も復活！

旧暦の正月を祝う「春節」をアレンジした「春節祭」が南京町で35回目の開催を迎えます。前回は2年振りのステージイベントを計画していましたが、「まん延防止等重点措置」の適用を受け、ポチ袋くじ等、物販のみの実施となりました。

今回はステージイベントとともに、中国史人游行、獅子舞による採青（祝儀とり）など、元町商店街等、周辺エリアでのイベントも実施すべく準備を進めています。

【2023南京町春節祭】

◆期間：1月22日（日）、27日（金）～29日（日）

◆場所：南京町及び周辺地域

◆HP：<https://www.nankinmachi.or.jp/event/shunsetsu/>

- ・中国獅子舞や中国舞踊、中国音楽など迫力満点のステージ
- ・旅行券やホテル宿泊券などの豪華賞品が当たる、ハズレなしの「ポチ袋くじ」
- ・ポチ袋を持参すると、近隣の様々な観光施設や飲食店等で割引を受けられるキャンペーンも実施
- ・お守り、おみくじ、参拝用線香の販売
- ・剪紙の実演販売、占い
- ・中国史人游行
- ・南京町の各店で春節祭ならではのお得な「迎春餐＆福袋」
- ・獅子舞採青（祝儀とり）

※感染症の拡大状況等により内容は変更の場合があります



神戸のとびら：神戸を彩る特選プログラム

神戸の魅力を堪能できる体験プログラムの開催！

神戸らしさあふれる体験プログラムを集約して提供するプラットフォームページ「神戸のとびら」を新たに開設しました。

「イズベーカーリーの工場見学」、「南京町グルメツアー」、「神戸ビーフを五感で味わうツアー」など“神戸らしさ”、“特別感”を感じられる約25の体験プログラムを用意。

「扉を開けて開放的な旅に出かける」をコンセプトに、今後も地域の事業者が主催する体験プログラムや、神戸観光局が主催するプログラム、特別なテーマ性のあるプログラムなど、多彩な体験を提供します。 ※将来的にインバウンド向けプログラムにも取り組んでいきます。

▽ブランドロゴ



染色作家の関美穂子さん作。開港以来から続く神戸独自の文化を紹介するような、どこか懐かしい雰囲気イメージ。

◆開催場所：神戸市内全域（近隣他都市の連携も可）

◆主催：神戸観光局および各事業者

◆HP：<https://kobe-door.feel-kobe.jp/>

▽プログラム例

▽公式サイト



旬な神戸をPR！『今こそ神戸へ！』キャンペーン（第二弾）

第二弾は秋から冬の少人数大人旅がターゲット

神戸観光局では「KOBE観光の日」および全国旅行支援に合わせ、豪華賞品の当たるデジタルスタンプラリーや、特設Webサイトで動画やツアープログラムなど神戸で海外旅行気分が楽しめる企画「神戸で海外旅行」等を実施する『今こそ神戸へ！』キャンペーン（第二弾）をスタート。神戸公式観光サイト『Feel KOBE』内には特設ページを開設し、秋の行楽シーズンからクリスマスにかけての「大人旅」をテーマとした情報を発信し、女性を中心とした少人数の大人旅の誘客を図っています。



【実施内容】

- (1) めぐる神戸デジタルスタンプラリー2022（第二弾）
北野異人館街、旧外国人居留地、有馬温泉のほか、アートや酒蔵など、大人旅をテーマとしたコースを中心に観光モデルコース10コースを用意。
スタンプを集めた方の中から、ホテル宿泊券、レストラン食事券などの豪華景品を抽選で39名様にプレゼント。
- (2) 「神戸で海外旅行」キャンペーン
“異国情緒あふれる神戸では、日本にいながらでも海外旅行気分が味わえる”という神戸旅の楽しみ方を提案するキャンペーン。3年目を迎えた今年は新たにスタンプラリー企画も実施しています。
- (3) キャンペーン特設ページの開設（神戸公式観光サイト『Feel KOBE』内）
旬のお出かけ情報をまとめて照会しています。

◆期間：実施中～12月25日（日）

◆HP：https://www.feel-kobe.jp/imakosokobe_2022_aw/

「神戸で海外旅行」キャンペーン2022実施中！

昨年好評の特別ツアーに加え、10万円の航空券が当たるキャンペーンも開催中！

“日本にいながらでも海外旅行気分が味わえる”という、神戸ならではの旅の楽しみ方を、様々な企画を通して提案する「神戸で海外旅行」キャンペーン。コロナ禍の2020年からスタートし、今年で3年目を迎えます。今年は、昨年好評であった**特別ツアープログラム**に加え、**10万円相当の航空券が当たるデジタルスタンプラリー**や**SNSハッシュタグキャンペーン**など、さらにボリュームアップした内容で2023年1月末まで実施しております。

【実施内容】

- (1) 海外旅行気分が味わえる「**7つの特別ツアープログラム**」
神戸在住の外国人ガイドによる案内や、普段公開されていない場所の見学など、まるで海外の現地ツアーに参加している気分になれる7つの特別ツアープログラムを用意。
- (2) 海外感あふれるスポットをめぐる「**デジタルスタンプラリー**」
神戸の海外感あふれるスポット約40箇所のうち、5箇所以上のスタンプを集めると抽選に応募可能。
- (3) 神戸で撮った海外風な写真を投稿！「**Instagramハッシュタグキャンペーン**」
神戸で見つけた海外のようなスポットやグルメ、体験を撮影し、Instagramで神戸観光局公式アカウント（@kobe.kanko）をフォローの上、ハッシュタグ「#神戸で海外旅行」をつけて期間中に投稿すると抽選可能。
- (4) 神戸で海外旅行の楽しみ方を提案する「**特設WEBページ**」
神戸公式観光サイト「Feel KOBE」内にキャンペーン特設WEBページを公開。神戸で海外旅行気分が味わえるスポットや施設、グルメなどを具体的に紹介。



◆期間：実施中～2023年1月31日（火）

※ツアーは随時。スタンプラリーは1月15日（日）まで

◆HP：https://www.feel-kobe.jp/travel_abroad_in_kobe/

海外現地の状況

神戸海外観光ネットワーク拠点設置国の状況（11月末時点）

日本入国に関して

10月11日より日本政府が個人旅行の受入れや査証免除措置の再開等を実施したことを受け、10月の訪日外客数は約50万人と、前月から倍以上の伸びとなった。

台湾



【入境制限緩和】

台湾政府は10月13日から水際措置を緩和し、入境後の外出禁止期間を廃止すると同時に海外からの団体旅行客受け入れを再開、海外への団体ツアー催行禁止令も解除。航空各社は春節に向け、増便や運航再開が進んでいます。12月1日には1週間当たりの入国者数上限を現行の15万人から20万人に引き上げるとしています。

タイ



【入国規制撤廃 他】

観光受入れを進めるタイ国は、10月1日より入国制限を完全に撤廃し、入国に際しワクチン接種証明書や陰性証明書がすべての人に対し不要になりました。9月にはバンコク日本博（9/2-4）が開催され約9万人が来場し、来年1月末にはJNTO主催のFITフェアが開催される予定です。

フランス



【旅行博開催】

9月20日～22日の3日間にわたり、パリにてB to B旅行博「IFTM Top Resa」が開催され、Japanブース内に、神戸海外観光ネットワーク拠点が出展し、広島県・岡山県・島根県・松江市とともに神戸のPRをしました。3日間トータルで、約40件の商談を行いました。

現地イベント出展

シンガポール「NATAS Travel Fair 2022」（8月12日～14日開催）に参加！

8月に開催されたシンガポール最大のB to C旅行博のNatas Travel Fairに、JTBブースのもと神戸のPRを行いました。シンガポール旅行代理店協会（NATASが主催するこの旅行博は、旅行会社、ツアーオペレーター、観光関連企業・団体等が出展し、国内最大の取引が行われます。来場者数は約7万人と、2019年の約11万人から減少したものの、週末には会場の入り口に長蛇の列ができ、旅行意欲の高さが伺えました。神戸の魅力を発信するとともに、SNSフォローキャンペーンを実施し、多くの方にフォローいただきました。



英国「World Travel Market (WTM) 2022」（11月7日～9日開催）に出展！



11月にロンドンで開催されたB to B旅行博WTM2022に阪神堺外客誘致実行委員会として、大阪・神戸・堺・姫路・高野町とともに、ブース出展しました。商談では、各都市の観光施設や各都市を周遊するモデルコースを紹介し、関西エリアへの誘客プロモーションを実施し、3日間トータルで27件の旅行会社・メディアと商談を行いました。イベント全体では、3万5,000人以上のビジターとなり、2021年の2倍以上の参加者ということで、活気が見られました。

『今際の国のアリス シーズン2』 12月22日(木)より全世界配信！

日本発の実写オリジナル作品として、過去最大の視聴者数を記録した山崎賢人と土屋太鳳がW主演するNetflixシリーズ「今際の国のアリス」シーズン2が、12月22日に全世界独占配信されます。本作は神戸市内複数か所で約1か月間のロケ撮影が行われました。

特にポートアイランドの約4haの広大な土地に、“海上コンテナ”200個以上を使ったセットは圧巻！作品の壮大なスケール感を感じるロケ撮影でした。ぜひ作品をご覧ください、その他の神戸ロケ地も探してみてください。

◆Netflix『今際の国のアリス シーズン2』

- ・原作：麻生羽呂「今際の国のアリス」（小学館「少年サンデーコミックス」刊）
- ・監督：佐藤信介
- ・出演：山崎賢人、土屋太鳳、山下智久、朝比奈彩 ほか
- ・ロケ地：ポートアイランド、旧居留地、港島トンネル、六甲アイランドマリナパーク、生田川
- ・HP：<https://www.robot.co.jp/special/aliceinborderland/>



© 麻生羽呂・小学館/ROBOT

NHKドラマ 1月～2月に続々放送！

神戸のさまざまな場所で撮影されたドラマが、1月・2月に相次いで放送されます。大正～昭和初期の舞台となる歴史的な建築物や、下町人情あふれる新長田の街並みを、存分にお楽しみください。

◆土曜ドラマ「探偵ロマンス」 NHK総合

- ・放送：2023年1月21日（土）22:00スタート（全4話）
- ・出演：濱田岳、森本慎太郎、尾上菊之助、草刈正雄 ほか
- ・ロケ地：神戸大学、旧住友倉庫、神戸税関、湊川隧道、旧乾邸
- ・HP：<https://www.nhk.jp/p/ts/MZJR2NR6JM/>
<https://www.nhk.jp/g/blog/gcs62r1cwx/>



◆特集ドラマ「旅屋おかえり 兵庫編」 NHK BSプレミアム

- ・放送：前編 2023年2月1日（水）19:00 後編2月2日（木）19:00
- ・出演：安藤サクラ 武田鉄矢 美保純 ほか
- ・ロケ地：新長田界限
- ・HP：<https://www.nhk.jp/p/tabiyaokaeri/ts/393YXZ1R1K/>

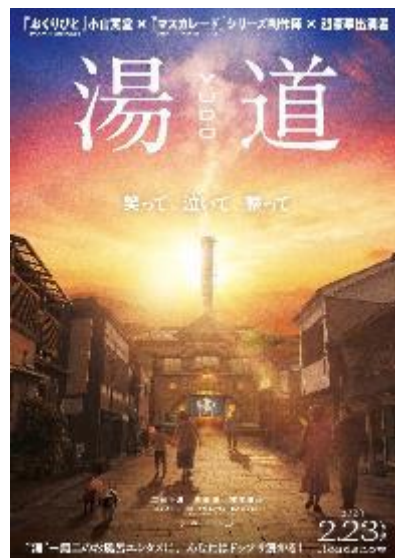


見て整う。映画『湯道』 2月23日(祝・木)より公開！

ゆるキャラ「くまモン」の生みの親としても知られる小山薫堂氏が提唱する“湯道”を映画化。神戸では有馬温泉のねね橋付近や、月光園游月山荘で撮影が行われました。また、ラジオ番組を収録するというシーンではラジオ関西にご協力いただき、主人公・史郎が東京で住んでいるマンションという設定で六甲アイランドのジ・アンタンテで撮影させていただきました。笑って泣けて、整う映画、ぜひご覧ください。見終わった後は銭湯に行きたくなること間違いなし！

◆映画『湯道』

- ・公開日：2023年2月23日（木・祝）～
- ・監督：鈴木雅之 ・出演：生田斗真、濱田岳、橋本環奈 ほか
- ・市内の公開劇場：OS シネマズミント神戸
- ・ロケ地：有馬川親水公園、月光園游月山荘、ラジオ関西、ジ・アンタンテ
- ・HP：<https://yudo-movie.jp/>



©2023映画「湯道」製作委員会

MICE業界でも取り組みが求められてきている「DE&I」

サステナビリティとの両輪で推進

ICCA（国際会議協会）の総会が11月初旬、ポーランド・クラクフで開催されました。今回のテーマは「Together we can」。80ヵ国900名が参加し、神戸も参加してきました。その中で特に話題にあがった重要なポイントや、世界の動向についてご紹介します。

大きなポイントは下記の3つ。特に欧米ではMICE分野においても「DE&I」と「サステナビリティ」は両輪で外せない要素となっており、開催地として選ばれる条件の中に都市や施設での取り組みが必須となっています。

1. DE & I (Diversity, Equity, Inclusion)
2. Sustainability
3. Legacy



会場となったICEクラクフ・コンGRESS・センターの外観は全面ガラス貼り。街の中心にあり、市民が自然と集まりたくなる景観の良い場所に建てられている

DE&Iとは

・ダイバーシティ（Diversity）＝多様性

年齢、性別、民族、宗教、疾病、性自認、性的指向、教育、国籍等の違いを尊重すること

・エクイティ（Equity）＝公平性

情報、機会、リソースへのアクセスを、すべての人に公平な扱いを保証しようとするもの

・インクルージョン（Inclusion）＝帰属意識

どのような個人や集団であっても、歓迎され、尊重され、支援され、評価され、参加できるような環境を作ること

GDS-Indexについても話題に 世界で約100都市が加盟

環境保全への取り組みはもちろん、互いを認め、誰もが平等に機会を得、尊重される環境があること。我々イベント業界に関わる関係者、主催者はこういった視点を持ち、広げていくことが今後より強く求められていきます。

また、グローバル基準での観光・イベントの視点から都市のサステナビリティ度を可視化できる唯一の指標・The GDS-Indexも議題に。現在世界では約100都市が加盟しており、欧米、とくに北欧が進んでいますが、アジアでトップ30位以内に入っているのはバンコクのみ。日本ではSDGsの取り組みがこの数年で進んできていますが、まだまだ足りていないのが現状です。

MICEの場は世界に情報を発信する力を持っています。サステナブルな活動に取り組む都市からは「小さな取り組みでも効果があり、行動を起こすことが最も重要」であることが語られました。



「私たちがともにできること」がテーマとなった同会では、最終日にウクライナの子どもたちを招いた音楽イベントも行われ、会場内で集まった募金が支援団体に寄付された

【ニュージーランドのある施設での取り組み】

ニュージーランドのあるコンベンション施設では、持続可能な運営の強化に取り組んでおり、1日約200キロほど出る食べ物を廃棄せず活用。食べられるものはフードバンクに提供、その他のものは施設内の乾燥機で粉末状にし、肥料として市へ提供しています。肥料は地元の学校などに供給され、そこで育てた野菜を買い取り、コンベンション施設で提供する料理に利用。こうして地元で循環させ、フードロスをなくしているそう。私たちも「もったいないをなくす」という意識を持ち、できることから始めていきたいと思います。

～「ばしふいっく びいなす」の運航終了について～

日本クルーズ客船株式会社が運航するクルーズ客船「ばしふいっく びいなす」が本年12月27日神戸発のクルーズをもって、惜しまれつつも営業航海を終了することとなりました。同船は1998年の就航以来、神戸港へ最も寄港回数の多いクルーズ客船であり、市民の方々にも親しみ・愛された客船であると言えます。また神戸港主催イベントにも様々なご協力をいただきクルーズを盛り上げていただきました。

神戸港では、「ばしふいっく びいなす」の最後の航海まで盛大に見送るべく、イベント等も検討しております。詳細については、港湾振興部ホームページ (<http://www.kobe-meriken.or.jp/>) やSNSでも発信を予定しておりますので、是非ご確認ください。

●8月9日（火）“夏休みあしずり・せとうちクルーズ”

いつもに比べてお子様連れのご家族が多いクルーズ、子供達にとっては夏休みの素敵な思い出になったことでしょう。



●9月4日（日）“神戸・横浜ゆったり2Nightクルーズ”

まだまだ残暑の厳しい中、少し秋を感じる夕焼けの空に向かい西側の岸壁から出港しました。

●9月12日（月）“令和の北前航路～神戸×金沢連携記念～”

色とりどりのイルミネーションがきらめく中突堤旅客ターミナルから、記念のクルーズが金沢港へ向け出港しました。このクルーズは「神戸港と金沢港の連携に関する協定」が締結されたことにちなんで企画・運航されたものです。

神戸と金沢を結ぶ「北前航路」、その繁栄の歴史は江戸時代に遡ります。物産品だけでなく、瀬戸内と北陸それぞれの文化を運ぶ「懸け橋のクルーズ」としても、大きな役割を果たしてきました。

今回のクルーズもこのことに倣い、船内では神戸市内で栽培したブドウのみを使って醸造された「神戸ワイン」のテイastingとレクチャーが行われたり、伝統を受け継ぐ金沢の職人による金箔工芸の見事な技が披露されるなど、両港にまつわる様々な企画や催しが行われました。

また船は、多島美に彩られた瀬戸内海から、海の難所と言われる関門海峡を通過し、朝もやにけむる隠岐の島を周遊するなど、船旅の魅力も存分に味わえる航路を辿って目的地の金沢港へ到着しました。

神戸出港に際しては、神戸学院大学吹奏楽部約50名の力強い演奏が花を添え、金沢港では入港歓迎式が催されました。歓迎式には神戸港を代表して神戸観光局専務理事の清水雅範が出席したほか、クルーズライターの土田寿美子氏もゲストとして参加され、連携協定について広く発信いただいています。



●10月11日（火）“秋の日本一周シーニッククルーズ”

宮古・釧路・金沢・鳥取・八代を巡る11日間の日本一周クルーズです。神戸市消防音楽隊の歡送演奏に見送られ出港しました。



●10月29日（土）“洋上の樂園JAZZ & POPSクルーズ”

マジックアワーの神戸港に汽笛が響き渡り、週末を利用した瀬戸内海クルーズの出港でした。

●10月31日（月）“びいなす美食彩クルーズ～駿河湾・伊豆諸島周遊～”

びいなすハウスのバンドのSt.トロペス&シャーロットによる明るい演奏と透き通るような歌声とともに出港しました。

クルーズ船の運航情報

🚢 「飛鳥II」 <https://www.asukacruise.co.jp/>

●10月4日（火）“爽秋の瀬戸内 土佐・別府クルーズ”
約4か月ぶりの神戸寄港で、乗船客も見送りの方も多く見受けられ、神戸市消防音楽隊の軽快なリズムと皆さんの手拍子の中、出港しました。

●10月8日（土）“神戸 A-Styleクルーズ”
雲一つない秋晴れの下、夕日に照らされ飛鳥IIの優美な船体が際立つ出港でした。

●10月10日（月・祝）“秋の神戸・門司クルーズ”
神戸・大阪から門司方面へはフェリーが毎日運航されていますが、客船でのクルーズはまた違った航海になったことでしょう。飛鳥II専属バンドによるカントリーミュージックが演奏され出港しました。

●10月20日（木）“秋の神戸・横浜クルーズ”
秋らしい澄み渡った空の下夕陽に照らされての出港でした。



🚢 「にっぽん丸」 <https://www.nipponmaru.jp/>

●9月13日（火）“館山・熱海と青ヶ島周遊クルーズ”
右舷付けのにっぽん丸をたくさんの方が撮影にいらっしゃいました。神戸市消防音楽隊による歓送演奏に見送られて出港しました。

●10月16日（日）“秋の屋久島と高千穂クルーズ”
今回初登場のウインドアンサンブルZEROによる青空を突き抜けるような活気ある演奏と、多くの方々に見送られての出港でした。人気の屋久島クルーズで、多くの方が乗船されていました。

●10月31日（月）“奄美大島・屋久島と美しき瀬戸内海チャータークルーズ”
魅力あふれる世界遺産・奄美大島、屋久島と美しき瀬戸内海をめぐり、チャータークルーズならではの船内オリジナルイベントやお食事を楽しみ神戸で下船されました。

●11月8日（火）“秋のふなたび～耶馬溪・霧島神宮～”
紅葉シーズンを迎える九州、癒される秋のふなたびへ神戸市消防音楽隊の歓送演奏に見送られ出港しました。乗船客の皆様は、船上からの皆既月食を楽しまれた事でしょう。



秋を迎え、多数のクルーズ客船が入港！12月もクリスマスクルーズで多くの客船が入港予定です。
※神戸港へのクルーズ客船の入港予定は、神戸市ホームページの客船入港予定をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/schedule/index2020.html>



宮崎カーフェリー新船「フェリーろっこう」就航

新船「フェリーろっこう」出航式が挙行されました

宮崎カーフェリーでは、今年4月に就航した新船「フェリーたかちほ」につづき、10月4日（火）新船「フェリーろっこう」が就航を迎え、出航に先立ち神戸三宮フェリーターミナルにおいて油井 神戸市副市長、永山 宮崎県副知事などのご臨席のもと出航式が挙行されました。「フェリーろっこう」は「フェリーたかちほ」とともに、両都市間の物流、観光面の益々の発展に期待が寄せられています。

出航式を終えた「フェリーろっこう」は定刻の19:10に岸壁を離れ、サプライズ花火に見送られながら、宮崎に向けて新たな船出に出航しました。



ジャンボフェリー新船「あおい」就航

「あおい」就航式典が挙行されました

神戸と小豆島・高松を結ぶジャンボフェリーは、10月22日（土）新船「あおい」の就航を迎え、神戸三宮フェリーターミナルに着岸中の同船内において、油井神戸市副市長、田淵神戸運輸監理部長などのご臨席のもと、就航式典が挙行されました。

新船「あおい」は、船体を約1.4倍に大型化し、輸送力の強化とともに、安全性と省エネ性の向上も実現されています。また、神戸と小豆島・高松間の瀬戸内海をワンランク上のクルージング空間で楽しむことができる「浮かぶりゾート」となっています。



第38回 神戸港フォークリフト荷役技能向上大会

「第38回 神戸港フォークリフト荷役技能向上大会」を開催しました

10月6日（木）神戸港フォークリフト荷役技能向上大会をメリケンパークで開催しました。同大会はフォークリフトの基本操作を通して港湾労働災害の防止に寄与するとともに、神戸港の優秀な荷役技能を国内外にPRすることを目的に実施しています。コロナ禍により令和2年、3年と中止していましたが、感染対策を講じて3年ぶりの開催となりました。神戸港を職場とする港湾関係企業から27名の参加者が集まり、日頃培った技術を競い合うレベルの高い競技が行われました。

今大会の様子は動画で撮影を行い、SNS等を通じて世界に向けて配信する予定です。



みなとHANABI —神戸を彩る5日間—

小規模分散型の花火イベントにリニューアルして3年ぶりの実施！



例年、8月に開催されていた「みなとこうべ海上花火大会」が、3年ぶりに小規模分散型の花火イベント『みなとHANABI-神戸を彩る5日間-』として開催形態をリニューアルし、10月17日（月）～21日（金）の平日5日間で実施されました。

コロナ禍が長期化するなかで、市民を元気づけ、観光面での経済効果を図り、ウォーターフロントの賑わい創出を目的に、各日10分間で小型花火（最大3号、従来は最大10号玉）約700発がメリケンパーク沖合から打上げられ、5日間の来場者数は延べ51,900人を数えました。会場のメリケンパークでは、一般の方による事前投票で選ばれた音楽と花火がシンクロして打ち上がる「音楽花火」が楽しめました。



「スマアワ Ship & Cycle」 須磨と淡路を結ぶ海上航路実証実験を実施

～船に乗って自転車で淡路へ～ 流行りのサイクリストをターゲットに！

滞在型リゾートエリアとして再整備が進む須磨では、美しい須磨海岸でのサイクリングやランニングが人気となっています。対岸の淡路島では、島を1周する「アワイチ」がサイクリストの間で流行しています。この2つのスポットを海上航路で繋ぎ、須磨海岸エリアの新たな魅力の創出を期待する実証実験として「スマ・アワ Ship & Cycle」を実施しました。

実施後のアンケートでは、参加者は神戸市内のみならず、全体の約26%が市外からで、全体の約91%がまた利用したいと回答。自由回答には「船からの景色がよかった」、「淡路島での滞在時間をもう少し長くして欲しい」といった声が寄せられました。

【開催概要】

- ・実施日 2022年10月8日（土）、9日（日）、15日（土）
- ・運航ダイヤ：往路（須磨→淡路島）復路（淡路島→須磨）
※淡路島：あわじ交流の翼港（淡路市）
- ・募集定員：1便あたり100名（うち自転車持込30名程度）
- ・参加者：約500名
- ・使用船舶：bohboh KOBE号（総トン数427トン、全長38m）



会員紹介コーナー 事例募集中！

本号では、誌面の都合上、「会員紹介コーナー」をお休みさせていただいておりますが、「会員紹介コーナー」では、会員の皆様の学びとなるよう、優れた取り組みやコロナ禍での新規事業の内容などを取材し、ニュースレターでご紹介させていただきたいと考えております。自薦他薦問いませんので、以下の制作担当にぜひお声がけください。

<編集後記>

12月に入り、一気に気温が低くなり、いよいよ本格的な冬の到来となりました。コロナ禍も丸3年となりましたが、わが国においては、まだまだ元の生活とはいかないようです。ただ、国内観光の回復とともに、10月以降のインバウンドの再開により、2022年は、観光業界において、大きな前進をした年になりました。万博まで2年となり、いよいよ準備も本格化する2023年こそは、コロナ禍が終幕を迎え、観光の完全回復することを願いながら、新年も皆様とともに歩みを進めていければと思います。

神戸観光局からのプレスリリースや最新のお知らせはホームページ (<https://kobe-dmo.jp/news/>) に随時掲載していますので、こちら是非ご覧いただき、ご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- ◆本ニュースレターに関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください (kobe-member@kcva.or.jp)
- ◆ご担当者様の変更等がございましたらメールにてご連絡をくださいますよう、お願いいたします。
(お問い合わせ) 経営推進部総務課 TEL：078-230-0800／神戸観光局HP：<https://kobe-dmo.jp>
(本ニュースレター制作) マーケティング担当 TEL：078-262-1631